

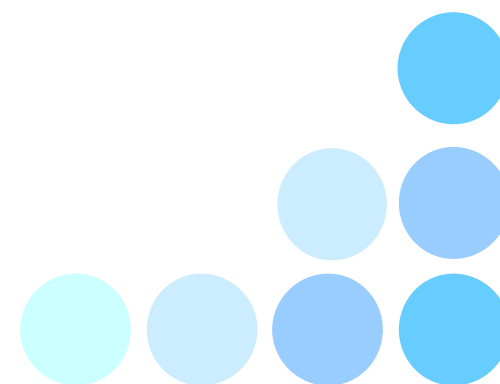


平成20年(2008年)3月期
第3四半期業績概況
ならびに
GD2010 第3ステージ経営計画

～投資家様向け説明会～

2008年1月31日

オムロン株式会社



目次

1. 2008年3月期 第3四半期業績概況と今後の見通し

- | | |
|-------------------|-------|
| ①エグゼクティブサマリー | P. 4 |
| ②第3四半期業績結果 | P. 6 |
| ③通期業績見通し | P. 20 |
| ④期末配当と、自己株取得の追加実施 | P. 24 |

2. GD2010 第3ステージ経営計画

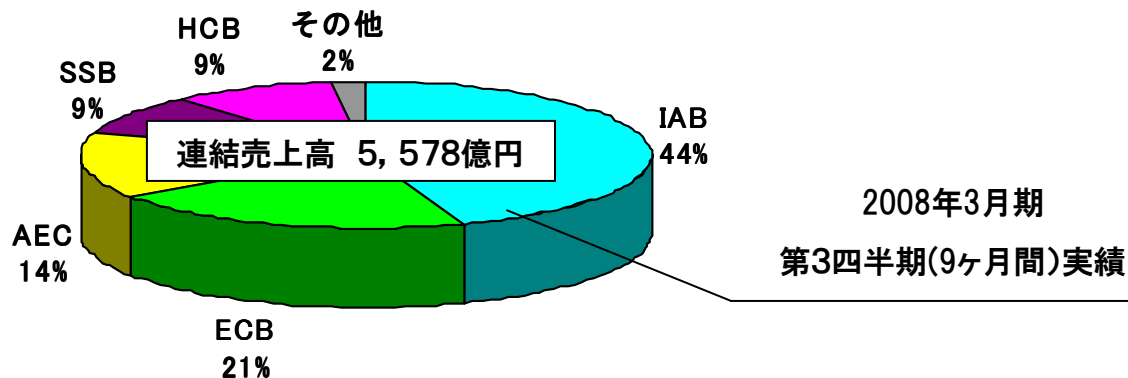
P. 31

<注意事項>

1. 四半期の財務数値については、監査法人による監査・レビューを受けておりません。
2. 当社の連結決算は米国会計基準を採用しています。
3. 連結子会社数は164社、持分法適用関連会社数は19社です。
4. 業績見通し等は、当社が現時点で入手可能な情報と、合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等はさまざまな要因により、これら見通しとは大きく異なることがあります。
実際の業績等に影響と与える重要な要因には、(i)当社の事業領域を取り巻く日本および海外の経済情勢、(ii)当社製品・サービスに対する需要動向、(iii)新技術開発・新商品開発における当社グループの能力、(iv)資金調達環境の大幅な変動、(v)他社との提携・協力関係、(vi)為替・株式市場の動向などがあります。
なお、業績に影響を与える要因はこれらに限定されるものではありません。

主要事業／主要製品／売上高構成

制御機器／FAシステム	インダストリアルオートメーションビジネス
IAB	: センシング機器、コントロール機器、セーフティ機器 各種検査装置 等
電子部品	エレクトロニクスコンポーネンツビジネス
ECB	: リレー、スイッチ、コネクタ、液晶バックライト、アミューズメント機器用部品 モバイル機器搭載部品、光通信部品 等
車載電装部品	オートモーティブエレクトロニクスコンポーネンツビジネス
AEC	: キーレスエントリーシステム、パワーウィンドウスイッチ、車載用リレー レーザーレーダー、タイヤ空気圧監視システム 等
社会システム	ソーシャルシステムズビジネス
SSB	: 自動改札機、自動券売機、道路情報提供システム セキュリティマネジメントシステム、顔認識システム 等
健康機器	ヘルスケアビジネス
HCB	: 電子血圧計、体組成計(体脂肪計)、電子体温計、歩数計 ネブライザー、業務用電子血圧計、健康サービス事業 等
その他	
その他	: パソコン周辺機器、RFID、エネルギーマネジメント等



1. 2008年3月期 第3四半期業績概況と今後の見通し

①エグゼクティブサマリー



2008年3月期 第3四半期業績概況と今後の見通し エグゼクティブサマリー



2008年3月期はグランドデザイン2010(GD2010)の第2ステージ(2004年4月～2008年3月)の最終年度
収益を伴った成長構造の実現への基盤を整える 「第2ステージゴールへ収益最注力」

第3四半期業績結果とポイント

*米国財務会計基準に基づき、前年同期比および前期比は非継続事業組替後で計算

■売上高・営業利益ともに前年同期比を上回るものの、期初計画を下回る

(連結業績)	実績	前年同期比	計画比	
売上高	5,578億円	109.2%	96.2%	
営業利益	432億円	105.5%	89.1%	(営業利益率 7.7%)
税前利益	441億円	92.2%	94.8%	(税前利益率 7.9%)
純利益	292億円	106.7%	95.8%	(当期利益率 5.2%)

- 連結売上高: 前年同期比9%増加は、海外売上増に加え、M&A、為替影響などが主要因。
計画比4%未達は、制御機器(IAB)国内売上減少と電子部品(ECB)軟調が主要因。
- 営業利益: 前年同期比5%増加は、売上増や生産構造改革の成果が主要因。(詳細は差異分析 P10参照)
計画比11%未達は、売上の計画未達が主要因 (詳細は差異分析 P11参照)
- 税前利益: 計画比5%減少は営業利益未達が主要因

2008年3月期通期業績見通しとポイント

■07/10/30発表の数値を以下の通り修正

(連結業績見通し)	通期	前期比		(前回見通し10/30)
売上高	7,750億円	107.1%		7,850億円
営業利益	650億円	104.8%	(営業利益率 8.4%)	710億円
税前利益	665億円	103.5%	(税前利益率 8.6%)	710億円
当期純利益	420億円	109.7%	(当期純利益率 5.4%)	460億円

1. 2008年3月期 第3四半期業績概況と今後の見通し

②第3四半期業績結果



売上高5,578億円 営業利益率7.7%
 連結売上・営業利益ともに前年同期比増加するも、期初計画には未達

(億円)					
全社P/L (9ヶ月累計)	07/3期 12月 実績	08/3期 12月 実績	前年同期比 %	08/3期 12月 期初計画	計画比 %
売上高	5,108	5,578	109.2%	5,800	96.2%
売上総利益	1,977	2,125	107.5%	2,215	95.9%
販管費	1,198	1,320	110.2%	1,300	101.5%
R&D費	369	373	101.1%	430	86.9%
営業利益	410	432	105.5%	485	89.1%
税引前利益	478	441	92.2%	465	94.8%
継続事業純利益	265	261	98.7%	—	—
非継続事業純利益	9	31	352.2%	—	—
税引後利益	274	292	106.7%	305	95.8%
(円)					
＜為替＞					
USDレート	116.3	117.2	0.9	115.0	2.2
EURレート	148.2	162.9	14.7	150.0	12.9

注) 修正見通し(07年10月30日発表)の第3四半期累計は公表をしていないため、期初計画のみ記載

海外はほぼ期初計画を達成、国内は前年同期並だが、期初計画を下回る
IAB、ECB、AEC、HCBで前年同期を上回るが、期初計画を上回るのはAECのみ

(億円)

国内／海外 (9ヶ月累計)	07/3期 12月 実績	08/3期 12月 実績	前年同期比 %	08/3期 12月 期初計画	計画比 %
国内	2,620	2,600	99.2%	2,817	92.3%
海外*	2,488	2,978	119.8%	2,983	99.8%
合計	5,108	5,578	109.2%	5,800	96.2%

*直接貿易は海外に含む

セグメント別	実績	実績	%	期初計画	%
IAB	2,223	2,430	109.3%	2,513	96.7%
ECB	1,012	1,178	116.4%	1,343	87.7%
AEC	673	805	119.7%	744	108.2%
SSB	607	524	86.4%	533	98.3%
HCB	483	525	108.7%	549	95.7%
その他	110	116	105.4%	118	98.4%
合計	5,108	5,578	109.2%	5,800	96.2%

注) 修正見通し(07年10月30日発表)の第3四半期累計は公表していないため、期初計画のみ記載

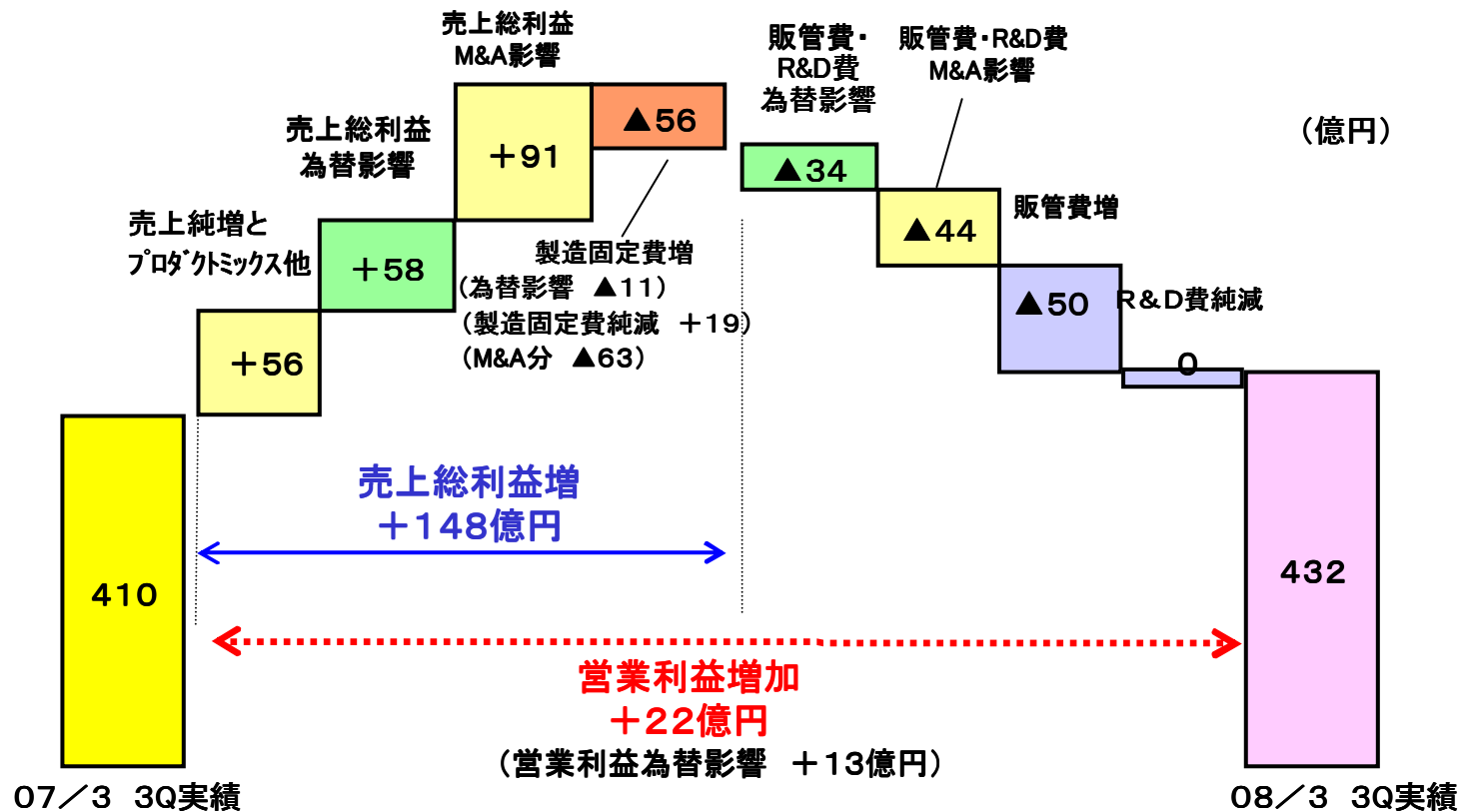
AECはほぼ期初計画どおりに推移、SSBは期初計画を上回る
IAB、ECB、HCBは期初計画未達

(億円)

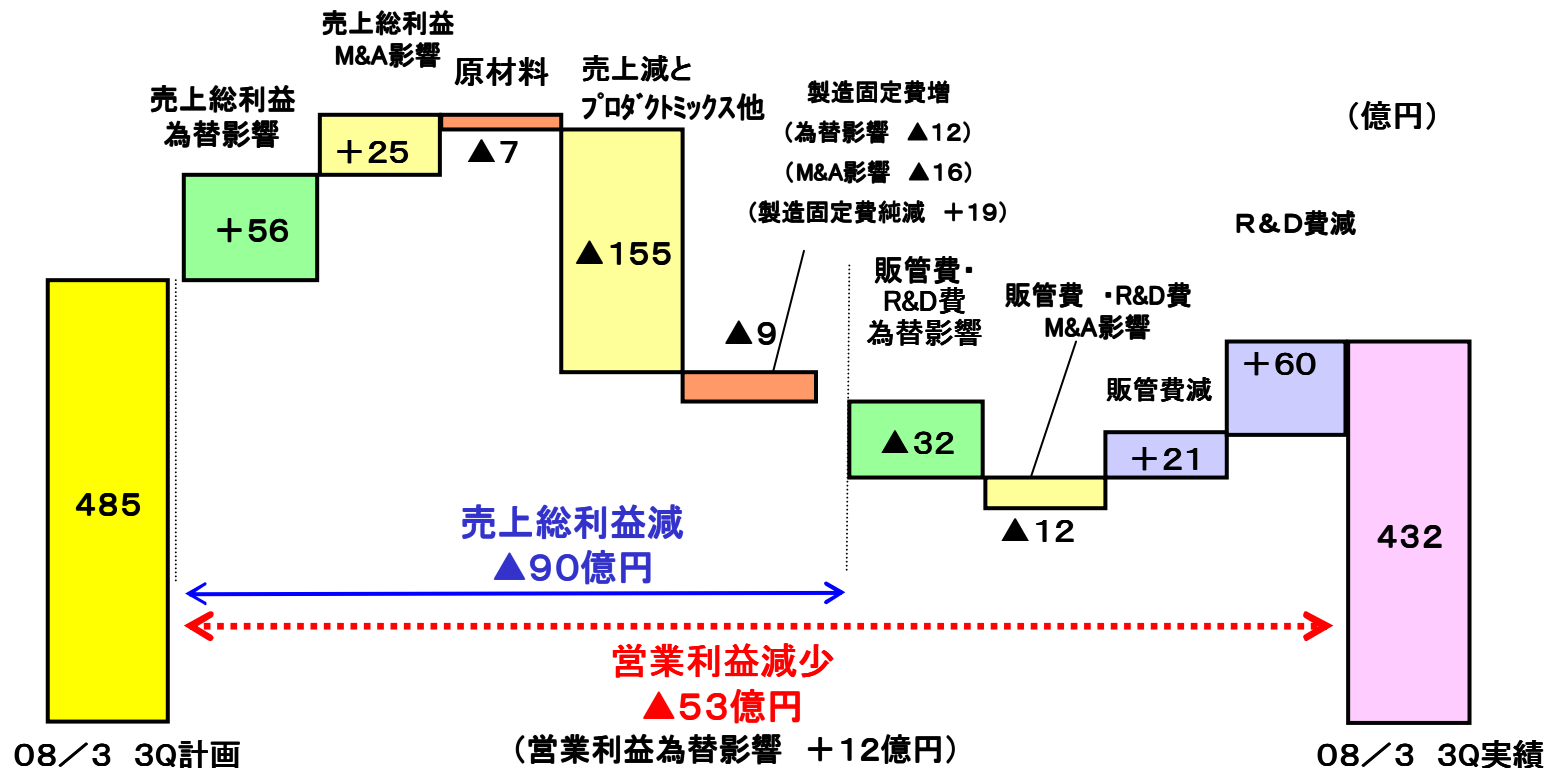
セグメント別 (9ヶ月累計)	07/3期 12月 実績	08/3期 12月 実績	前年同期比 %	08/3期 12月 期初計画	計画比 %
IAB	352	377	107.0%	462	81.5%
ECB	99	98	98.8%	112	87.2%
AEC	▲ 14	10	-	7	140.9%
SSB	24	2	10.2%	▲ 12	-
HCB	59	62	104.7%	72	86.8%
その他	7	0	7.3%	▲ 7	-
本社費他消去	▲ 117	▲ 117	-	▲ 149	-
合計	410	432	105.5%	485	89.1%

注) 修正見通し(07年10月30日発表)の第3四半期累計は公表していないため、期初計画のみ記載

売上純増や生産構造改革の成果が、販管費増で相殺されたものの
為替影響などにより前年同期比増加



売上未達による売上総利益減を固定費の抑制でカバーできず
営業利益は期初計画を下回る



注) 修正見通し(07年10月30日発表)の第3四半期累計は公表していないため、期初計画比にて記載

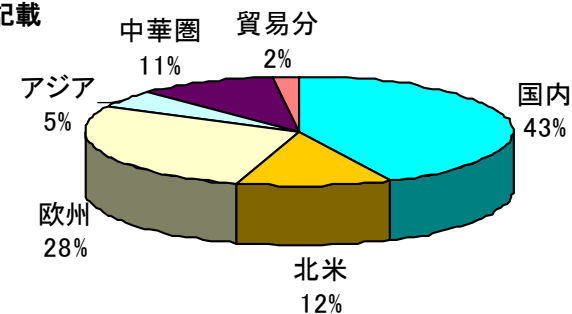
売上高は前年同期比9%増の2,430億円、営業利益率15.5%
国内はアプリケーション事業強化の成果が出つつあるも期初計画比92%、海外はほぼ堅調

(億円)

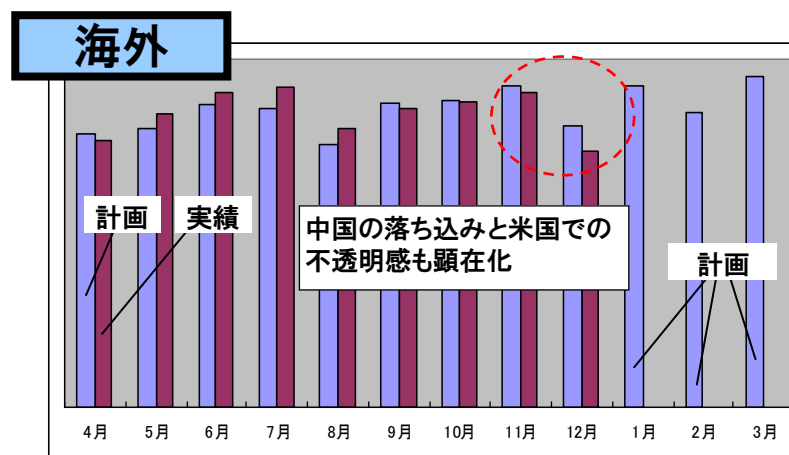
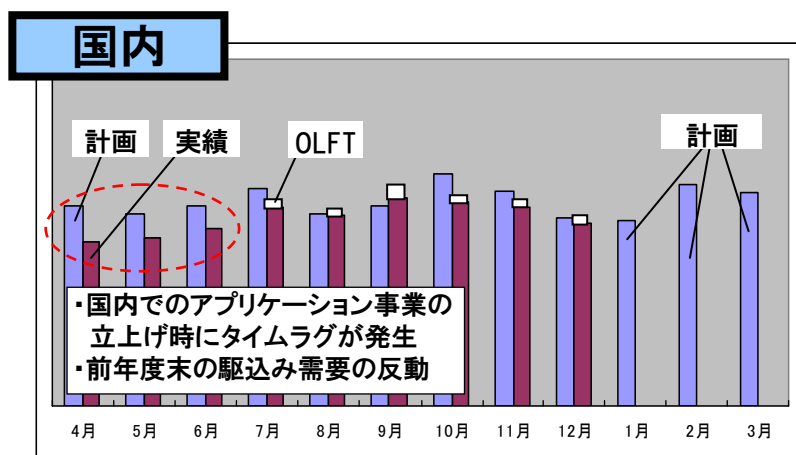
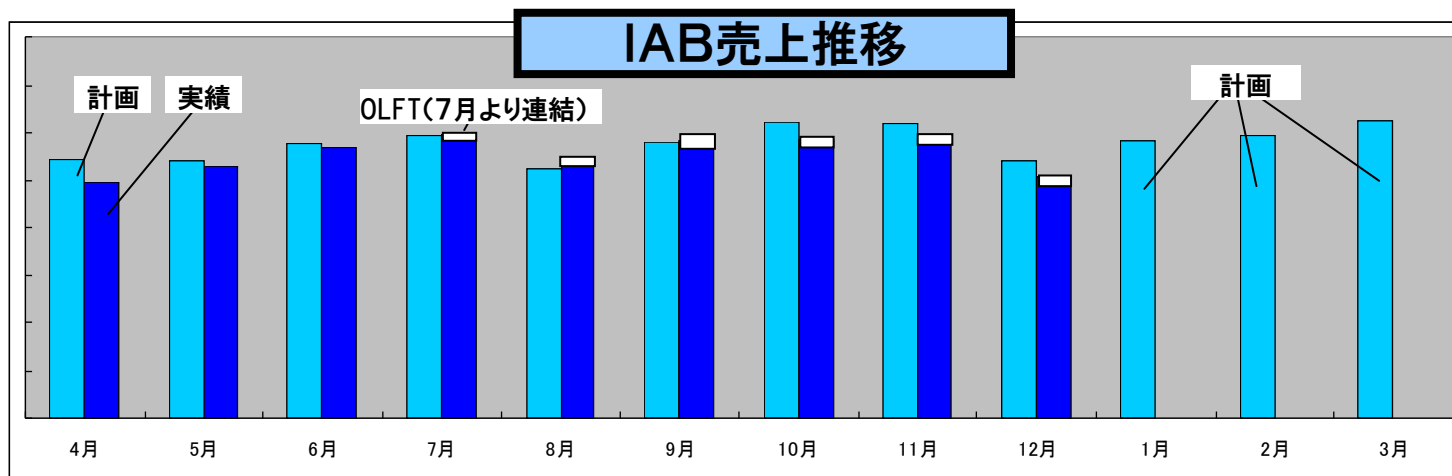
IAB (9ヶ月累計)	07/3期 12月 実績	08/3期 12月 実績	前期同期比 %	08/3期 12月 期初計画	計画比 %
国内売上高	1,031	1,049	101.7%	1,146	91.5%
海外売上高	1,192	1,381	115.9%	1,367	101.0%
北米	248	282	113.7%	287	98.3%
欧州	586	676	115.4%	634	106.7%
アジア	101	117	115.6%	117	99.4%
中華圏	213	260	122.1%	279	93.1%
貿易分	44	46	104.2%	50	91.8%
売上総合計	2,223	2,430	109.3%	2,513	96.7%
営業利益	352	377	107.0%	462	81.5%
営業利益率	15.8%	15.5%	▲0.3P	18.4%	▲2.9P

注) 修正見通し(07年10月30日発表)の第3四半期累計は公表していないため、期初計画のみ記載

地域別売上構成比



上期の計画未達は第1四半期での国内の売上不振が主要因
第3四半期(10月~12月)では国内に加え、米国や中国の苦戦も影響

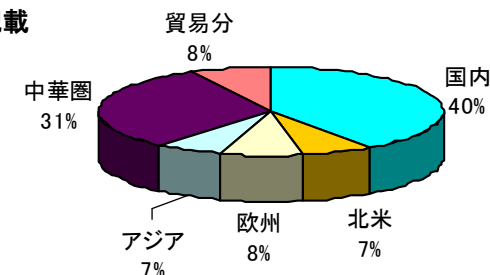


売上高は前年同期比16%増の1,178億円、営業利益率8.3%
小型バックライト事業、アムusement事業が低調で期初計画比88%

(億円)

ECB (9ヶ月累計)	07/3期 12月 実績	08/3期 12月 実績	前期同期比 %	08/3期 12月 期初計画	計画比 %
国内売上高	433	475	109.6%	567	83.7%
海外売上高	579	703	121.4%	776	90.6%
北米	83	80	95.7%	91	86.7%
欧州	86	90	105.2%	93	97.7%
アジア	62	80	128.4%	70	114.8%
中華圏	242	362	149.6%	450	80.6%
貿易分	105	91	86.2%	72	125.7%
売上総合計	1,012	1,178	116.4%	1,343	87.7%
営業利益	99	98	98.8%	112	87.2%
営業利益率	9.7%	8.3%	▲1.4P	8.3%	—

注) 修正見通し(07年10月30日発表)の第3四半期累計は公表していないため、期初計画のみ記載
地域別売上構成比



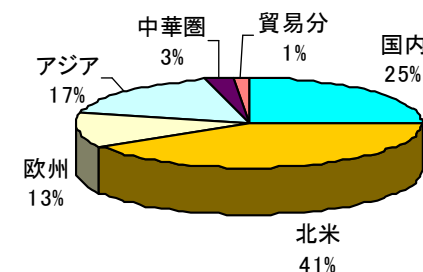
売上高は前年同期比19%増の805億円、営業利益率1.2%
国内堅調、海外売上増や生産体制の見直しに伴い、営業利益黒字確保

(億円)

AEC (9ヶ月累計)	07/3期 12月 実績	08/3期 12月 実績	前期同期比 %	08/3期 12月 期初計画	計画比 %
国内売上高	208	205	98.6%	190	108.1%
海外売上高	465	600	129.1%	554	108.3%
北米	273	328	120.4%	313	104.8%
欧州	70	101	143.8%	94	107.4%
アジア	116	138	119.2%	129	106.6%
中華圏	6	21	342.8%	18	118.9%
貿易分	0	12	—	0	—
売上総合計	673	805	119.7%	744	108.2%
営業利益	-14	10	—	7	140.9%
営業利益率	—	1.2%	—	1.0%	+0.2P

注) 修正見通し(07年10月30日発表)の第3四半期累計は公表していないため、期初計画のみ記載

地域別売上構成比

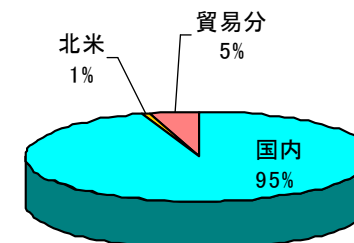


売上高524億円、若干期初計画を下回る
営業利益ベースで期初計画比大幅改善

(億円)

SSB (9ヶ月累計)	07/3期 12月 実績	08/3期 12月 実績	前期同期比 %	08/3期 12月 期初計画	計画比 %
国内売上高	592	496	83.8%	514	96.5%
海外売上高	15	28	184.5%	19	145.6%
北米	3	4	145.2%	7	61.7%
欧州	0	0	-	0	-
アジア	0	0	-	0	-
中華圏	0	0	-	0	-
貿易分	12	24	206.8%	12	195.0%
売上総合計	607	524	86.4%	533	98.3%
営業利益	24	2	10.2%	-12	-
営業利益率	3.9%	0.5%	▲3.4P	-	+2.8P

注) 修正見通し(07年10月30日発表)の第3四半期累計は公表していないため、期初計画のみ記載
地域別売上構成比



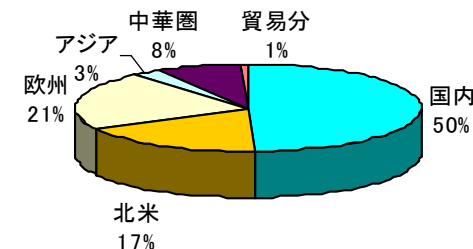
売上高は前年同期比8%増の525億円、営業利益率11.9%
国内は全般的に軟調推移するも、海外は欧州、中国を中心に堅調維持

(億円)

HCB (9ヶ月累計)	07/3期 12月 実績	08/3期 12月 実績	前期同期比 %	08/3期 12月 期初計画	計画比 %
国内売上高	249	260	104.5%	288	90.4%
海外売上高	234	265	113.1%	261	101.5%
北米	99	91	91.5%	103	88.5%
欧州	94	112	118.8%	105	107.0%
アジア	14	16	116.1%	15	104.8%
中華圏	25	42	165.0%	33	124.4%
貿易分	2	4	292.0%	5	89.8%
売上総合計	483	525	108.7%	549	95.7%
営業利益	59	62	104.7%	72	86.8%
営業利益率	12.3%	11.9%	▲0.4P	13.1%	▲1.2P

注) 修正見通し(07年10月30日発表)の第3四半期累計は公表していないため、期初計画のみ記載

地域別売上構成比



自己資本比率63.0%
利益剰余金増加などによって前期末比2.3ポイント増加

(億円)

連結B/S	2006年12月	2007年3月	2007年12月
総資産	6,241	6,303	6,346
現預金	510	430	384
売上債権	1,475	1,734	1,573
在庫	1,085	941	1,103
その他流動資産	314	315	299
固定資産	1,576	1,593	1,597
投資その他資産	1,281	1,290	1,390
総負債	2,503	2,475	2,349
短期借入金	466	201	203
長期借入金	5	17	18
その他負債	2,032	2,257	2,127
資本	3,738	3,828	3,997

将来に向けた事業買収により、
投資活動によるキャッシュフローは271億円の支出

連結CF (9ヶ月累計)	(億円)		
	2006年12月	2007年12月	2007年3月 (参考)
営業活動によるキャッシュフロー	102	407	405
投資活動によるキャッシュフロー	▲341	▲271	▲471
FCF	▲239	136	▲66
財務活動によるキャッシュフロー	219	▲191	▲47
換算レート変動の影響	7	10	19
期中の現金増減額	▲13	▲46	▲93
期末の現金残高	510	384	430

1. 2008年3月期 第3四半期業績概況と今後の見通し

③通期業績見通し



為替の効果やM&A分(OLFT)の純増分があるものの、
IAB(国内)およびECB(バックライト)の軟調により前回見通しを修正

* 前回見通しは07/10/30公表

(億円)

	07/3期 通期 実績	08/3期 通期 見通し	前期比 %	08/3期 通期 前回見通し*	前回 見通し比 %	08/3期 通期 期初計画	期初 計画比 %
売上高	7,239	7,750	107.1%	7,850	98.7%	8,000	96.9%
売上総利益	2,782	2,973	106.8%	3,035	97.9%	3,095	96.0%
販管費	1,642	1,788	108.9%	1,775	100.7%	1,780	100.4%
R&D費	520	535	102.8%	550	97.3%	565	94.7%
営業利益	620	650	104.8%	710	91.5%	750	86.7%
税前利益	643	665	103.5%	710	93.7%	720	92.4%
継続事業当期純利益	371	389	105.0%	429	90.7%	430	99.9%
非継続事業当期純利益	12	31	257.6%	31	100.0%	30	101.8%
当期純利益	383	420	109.7%	460	91.3%	460	91.3%
基本的1株あたり利益	164.96	184.08	111.6%	201.01	91.6%	199.55	92.2%

*07/3期 通期実績は非継続事業組替え後

*1株あたり利益の通期見通しは、取得および消却予定分を含む

売上高見通しを以下の通り修正

*前回見通しは07/10/30公表 (億円)

国内/海外	07/3期 通期 実績	08/3期 通期 見通し	前期比 %	08/3期 通期 前回見通し*	前回 見通し比 %	08/3期 通期 期初計画	期初 計画比 %
国内	3,752	3,750	100.0%	3,775	99.4%	3,965	94.6%
海外*	3,487	4,000	114.7%	4,075	98.1%	4,035	99.1%
合計	7,239	7,750	107.1%	7,850	98.7%	8,000	96.9%

*直接貿易は海外に含む

セグメント別	実績	見通し	%	前回見通し	%	期初計画	%
IAB	3,056	3,320	108.7%	3,390	97.9%	3,395	97.8%
ECB	1,384	1,580	114.2%	1,625	97.2%	1,805	87.5%
AEC	933	1,080	115.7%	1,050	102.9%	1,000	108.0%
SSB	1,059	870	82.1%	880	98.9%	900	96.7%
HCB	657	735	111.8%	735	100.0%	735	100.0%
その他	150	165	110.3%	170	97.1%	165	100.0%
合計	7,239	7,750	107.1%	7,850	98.7%	8,000	96.9%

*07/3期 通期実績は非継続事業組替え後

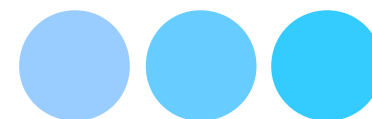
営業利益見通しを以下の通り修正

* 前回見通しは07/10/30公表 (億円)

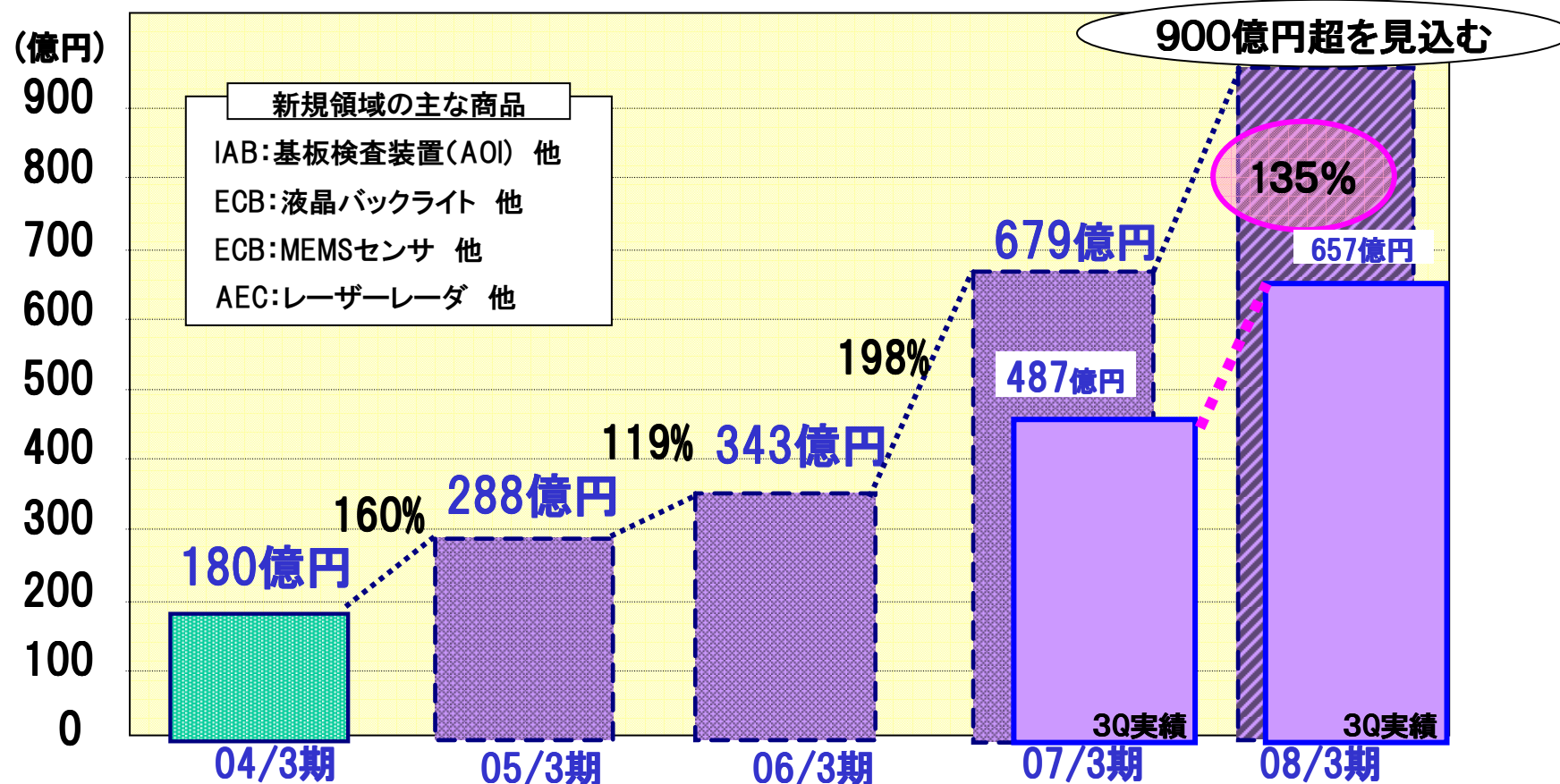
セグメント別	07/3期 通期 実績	08/3期 通期 見通し	前期比 %	08/3期 通期 前回見通し*	前回 見通し比 %	08/3期 通期 期初計画	期初 計画比 %
IAB	485	540	111.3%	610	88.5%	646	83.6%
ECB	131	135	103.2%	140	96.4%	153	88.4%
AEC	▲ 12	14	-	14	100.0%	14	100.0%
SSB	81	73	90.4%	73	100.0%	73	100.0%
HCB	87	95	109.4%	95	100.0%	95	100.0%
その他	4	1	22.0%	1	100.0%	▲ 6	-
本社費他消去	▲ 156	▲ 208	133.8%	▲ 222	93.3%	▲ 224	92.5%
合計	620	650	104.8%	710	91.5%	750	86.7%

(参考情報)

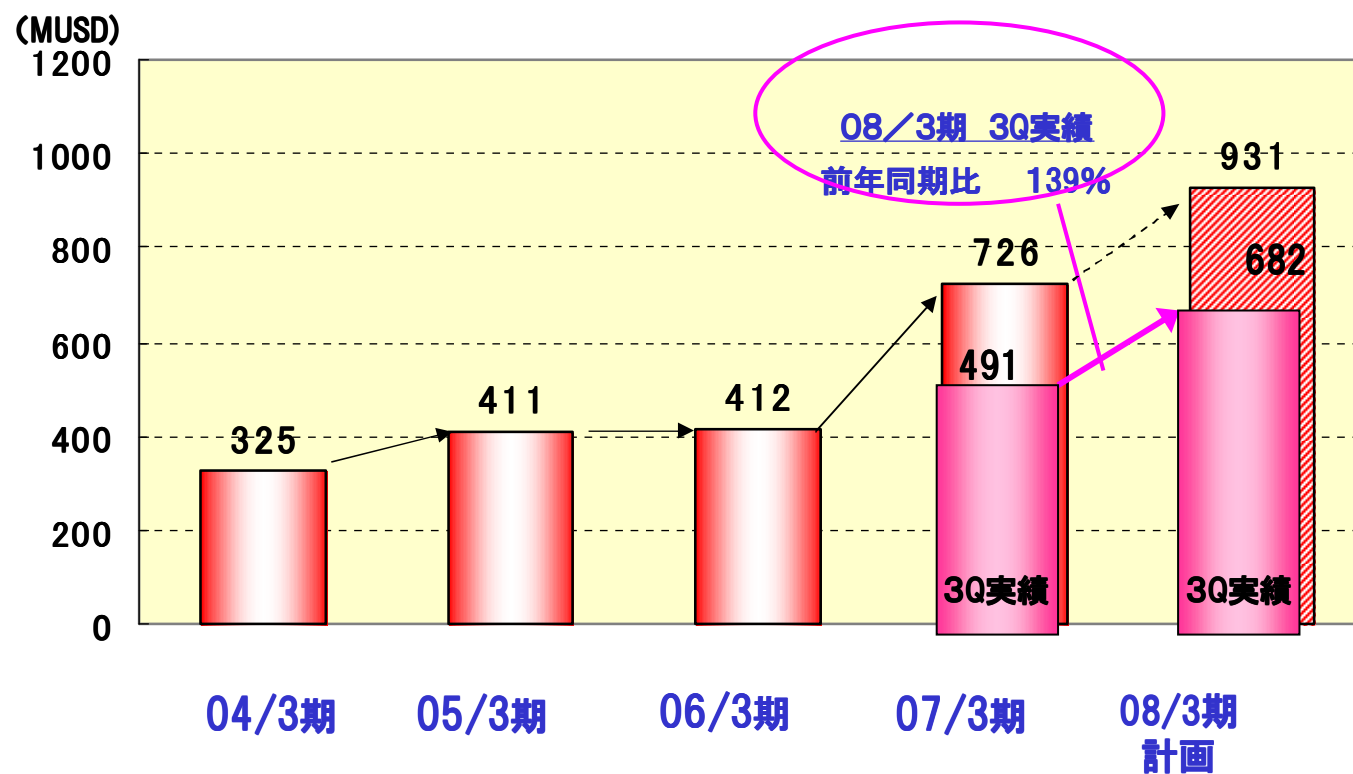
重点戦略進捗



M&A(OPT/OLFT)の寄与などにより前年同期比大幅増加



OPTの売上が寄与し前年同期比139%と大幅成長



1. 2008年3月期 第3四半期業績概況と今後の見通し

④ 期末配当と、自己株取得の追加実施



期末の普通配当を20円とし、それに75周年記念配当5円を追加し、
年間配当額42円を予定

創業75周年記念配当に関するお知らせ(08/01/30開示・抜粋)

当社は、平成20年3月期(第71期)の期末配当金(基準日 平成20年3月31日)につきまして、当社の利益配分に関する基本方針である最低20%の配当性向とDOE2%の目標に沿って1株につき20円を予定し、期末配当としては普通配当20円に記念配当5円を加え、1株につき25円を予定いたします。

基準日	1株当たりの配当金				年間
	中間期末	期末	(普通配当)	(記念配当)	
配当額	17円	25円	(20円)	(5円)	42円

	配当額	配当性向	DOE
普通配当	37円	約20%	約2.1%
普通+記念配当	42円	約23%	約2.5%

参考：利益配分に関する基本方針
(07/04/26開示)

連結業績ならびに株主資本配当率(DOE)などを勘案し、安定的、継続的な株主還元
の充実を図る。
最低20%の配当性向を維持するとともに、
DOE2%を当面の目標とする。

今年度中に追加で600万株(上限)または180億円(上限) の自己株取得を実施予定

自己株式の取得に関するお知らせ(08/01/30開示・抜粋)

当社は、本日開催の取締役会において、下記の通り自己株式を取得することを決議いたしましたので、お知らせいたします。

- (1) 取得する株式の種類 : 普通株式
- (2) 取得する株式の総数 : 600万株(上限) (発行済株式総数(自己株除く)に対する割合 2.6%)
- (3) 株式の取得価額の総額 : 180億円(上限)
- (4) 取得する期間 : 平成20年2月1日から平成20年3月18日まで

※

※発行済株式総数(自己株含む)に対する割合は 2.4%

自己株式保有の推移見込み

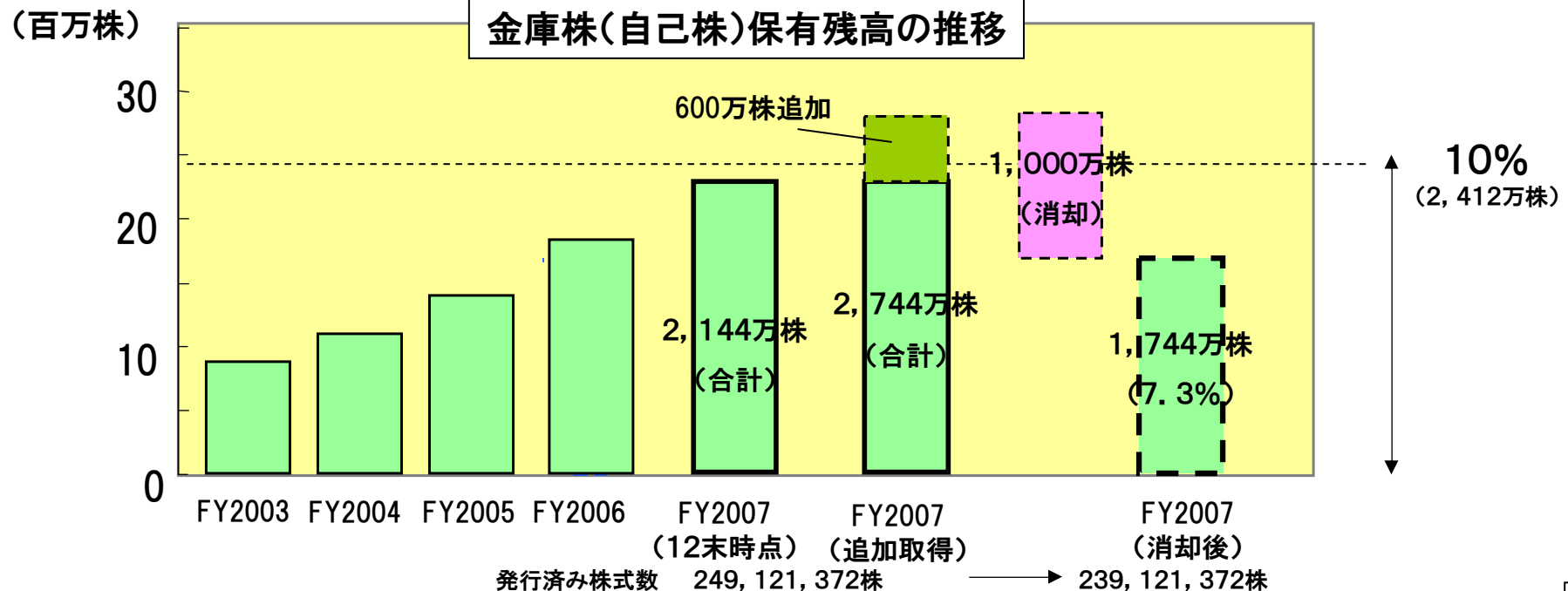
	2007/3末	2007/12末	600万株取得後 (2007/12末ベース)
発行済株式数(自己株含む)	249,121,372	249,121,372	249,121,372
自己株式数	18,599,842	21,439,780	27,439,780
保有割合	7.5%	8.6%	11.0%

金庫株(自己株)の保有割合が10%未満となるように、 1,000万株を今年度中に消却予定

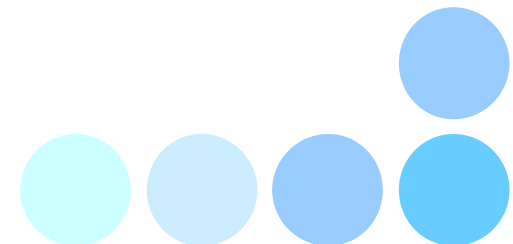
自己株式の消却に関するお知らせ(08/1/30開示・抜粋)

当社は、本日開催の取締役会において、自己株式を消却することを決議いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします

- (1)消却する株式の種類 : 当社普通株式
- (2)消却する株式の数 : 10,000,000株
(消却前発行済株式の総数に対する割合 4.01%)
- (3)消却予定日 : 平成20年3月21日(予定)



2. GD2010 第3ステージ経営計画 ～中核事業の強化でグローバルNo.1をめざす～



センシング&コントロール技術でソーシャルニーズを創造
グローバルに業界をリードする事業ユニットの集合体

GD2010

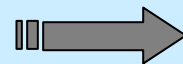
経営目標:企業価値の長期的最大化

2010年までに

収益を伴った成長企業の実現

第1ステージ(2001/4~2004/3)でめざしたもの

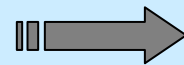
高収益構造の確立、ROE 10%の実現



2004/03にROE10.2%達成

第2ステージ(2004/4~2008/3)でめざしたもの

収益と成長のバランス、事業価値の倍増

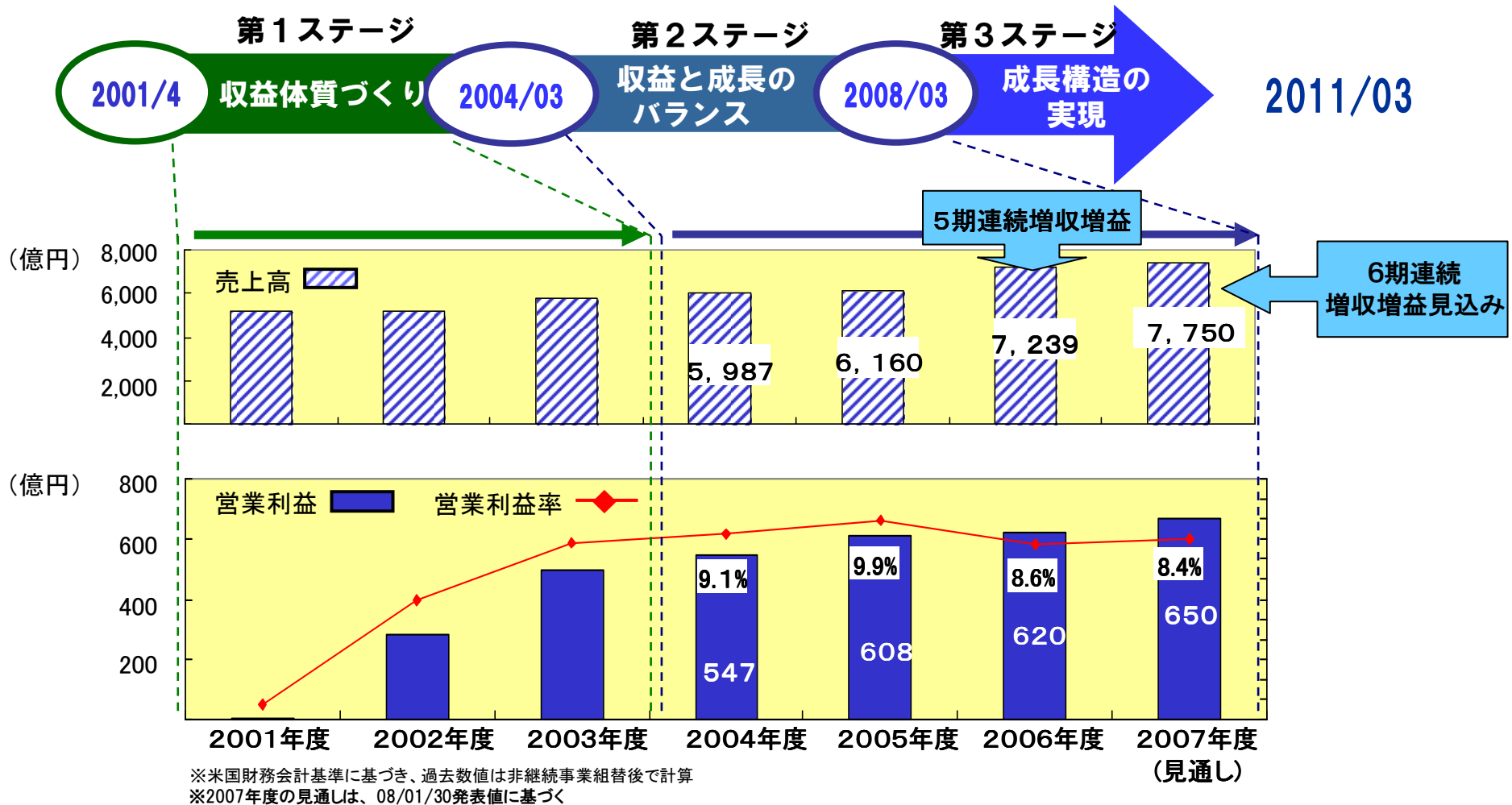


- ・事業価値^{*1}の倍増を見込む
- ・株主価値(EPS)は108円(03年度)から約184円(07年度)^{*2}に向上見込み

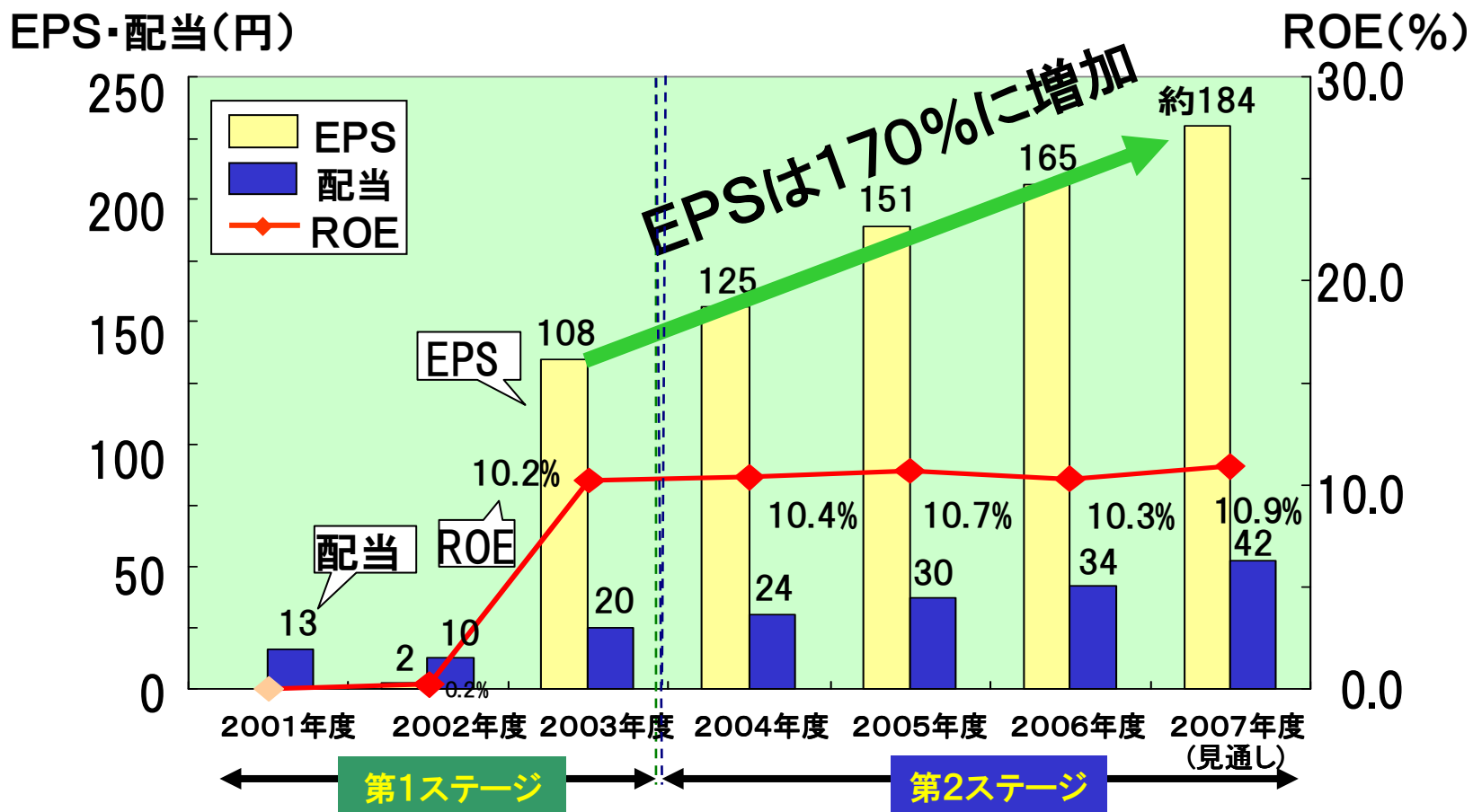
*1 第2ステージの内部計算方式に基づく

*2 2007年度の見通しは、08/01/30発表値に基づく

第1ステージ、第2ステージを通じて増収増益基調で推移
2007年度には、6期連続の増収増益を達成見込み

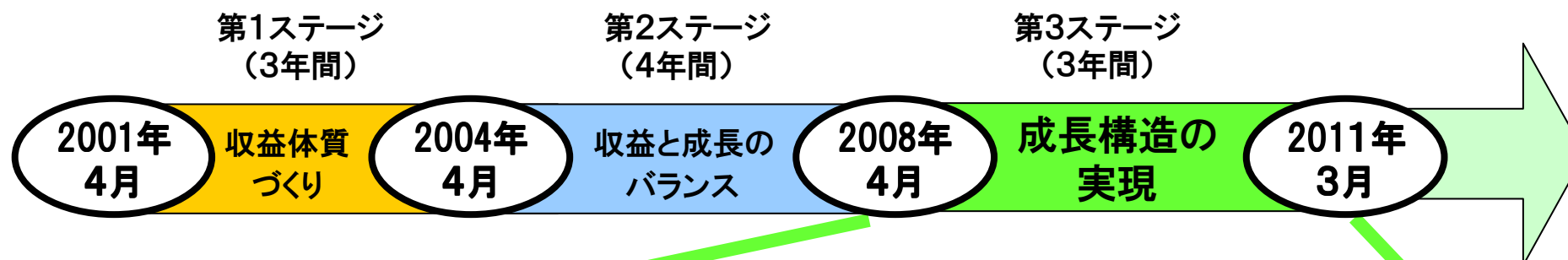


第2ステージのROEは10%を維持
EPSは170%に増加



※米国財務会計基準に基づき、過去数値は非継続事業組替後で計算
※2007年度の見通しは08/01/30発表値に基づく

事業価値を年平均10%以上向上させる



<第3ステージ中期目標>

事業価値の年平均10%以上向上

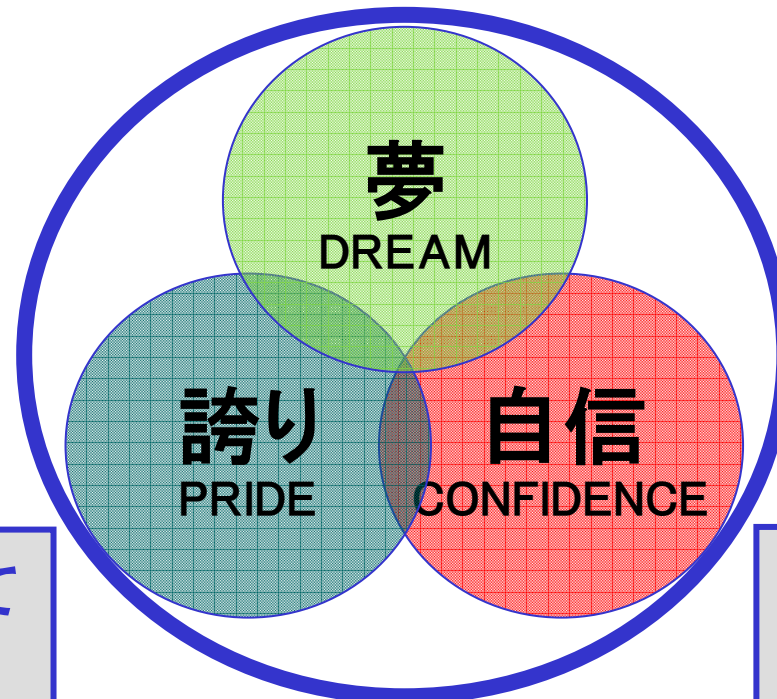
運営指標

- 投資収益性 : ROIC 12%以上
- 売上収益性 : ROS 10%程度
- 資本効率性 : 投下資本回転率 10%改善

「夢」「誇り」「自信」

グローバルに存在が認知される企業を目指す

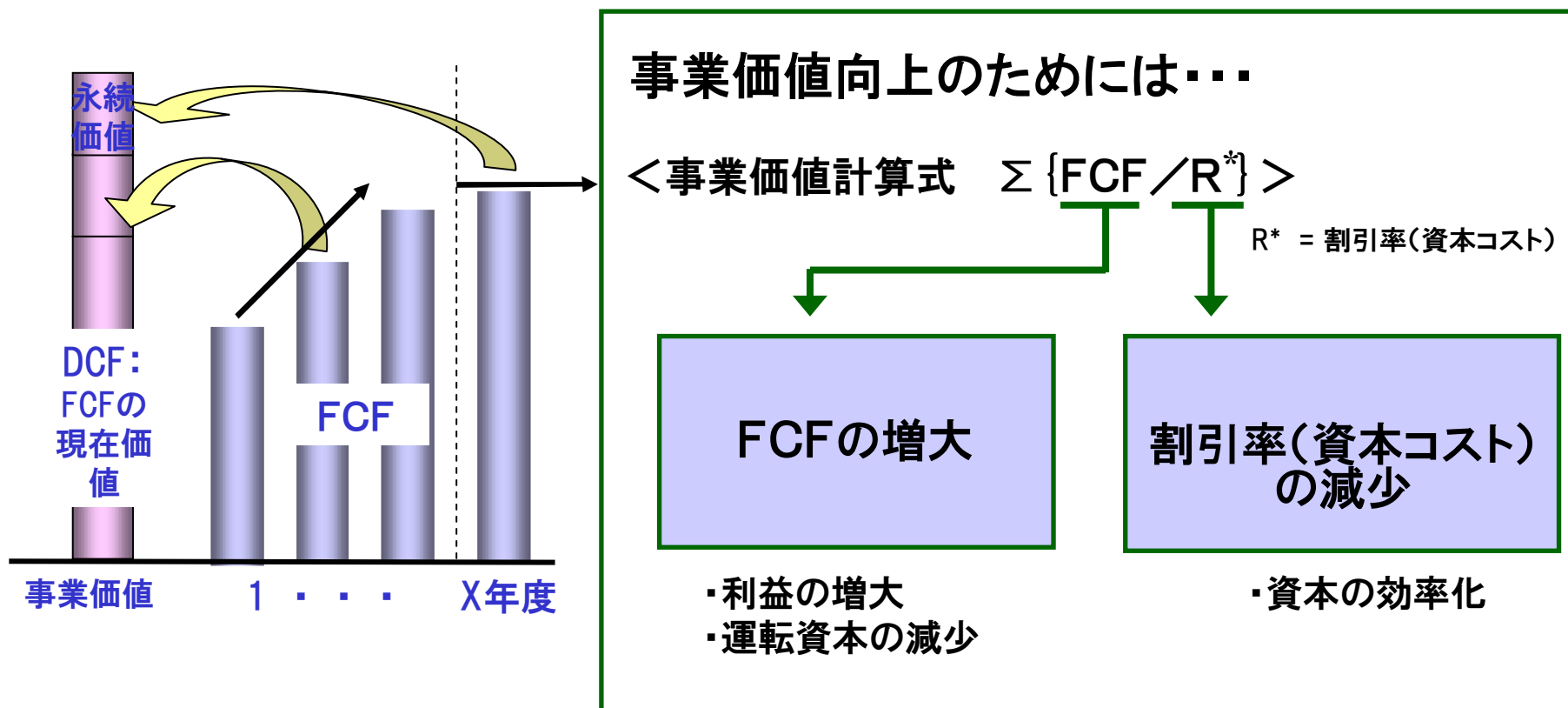
ソーシャルニーズを
創造する



社会の公器として
社会に貢献する

持続的に利益を
出し続ける

当社が定義する事業価値は各事業が将来に生み出す
FCF(フリーキャッシュフロー)の現在価値の合計値



既存事業の強化と新規事業の拡大により 持続的成長のメカニズムを実現する

<中期目標>

事業価値の年平均
10%以上向上

事業価値向上策

(2) 新規事業の拡大
(約20%)

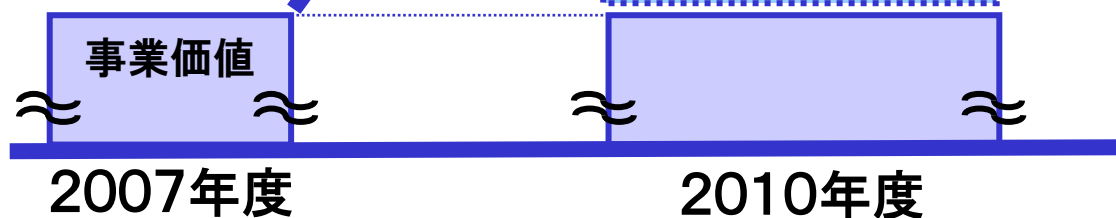
中華圏での
事業拡大

(1) 既存事業の強化
(約80%)

取組み内容

・コア技術:
センシング&コントロール技術
・アプリケーション:
安心・安全、健康、環境に着目し
ソーシャルニーズを創造

・各セグメントにおける注力事業の
事業価値向上をめざす
・中華圏での売上成長



営業利益・EPSの指標

650億円

営業
利益

約184円
EPS

2007年度(見通し)

950~1,000億円

営業
利益

約260円

EPS

2010年度

特に既存事業の強化に
よって収益力を高め、
事業価値の向上を図る。

※2007年度の見通しは、08/01/30発表値に基づく

各セグメントにおける注力事業の事業価値向上をめざす

<p>工場自動化用制御機器 (IAB)</p>	<p>アプリケーション領域に特化しFAの品質、安全、環境に特に注力 さらにセーフティ事業、QLM事業^{*1}、マイクロPLC事業など 高付加価値型ビジネスに最注力する</p>
<p>家電・通信用電子部品 (ECB)</p>	<p>MEMS事業では「圧力、加速度、フロー、温度、音」の多種多様な 現象からセンシング&コントロール技術を用いて価値ある情報をつくり出す高付加価値製品に注力する</p>
<p>自動車用電子部品 (AEC)</p>	<p>EPS(電動パワーステアリング)を中心に高成長を追求する</p>
<p>社会システム (SSB)</p>	<p>顔認識システムなどソーシャルセンサ^{*2}を新たなコア事業に加え 店舗・駅・施設・工場などの安心・安全を実現する</p>
<p>健康・医用機器 (HCB)</p>	<p>ネットヘルスケアを基盤としたホームメディカルケアを実現し 生活習慣病予防・改善のトータルソリューションを推進する</p>

*1 機械に熟練者と同じような品質検査力を持たせると同時に、効率的・効果的な品質改善・管理を行うソリューション事業

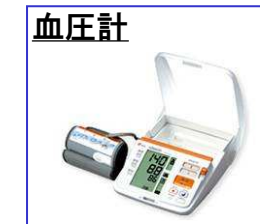
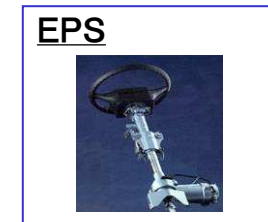
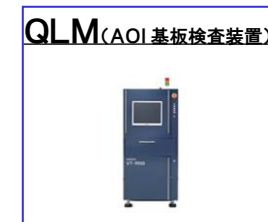
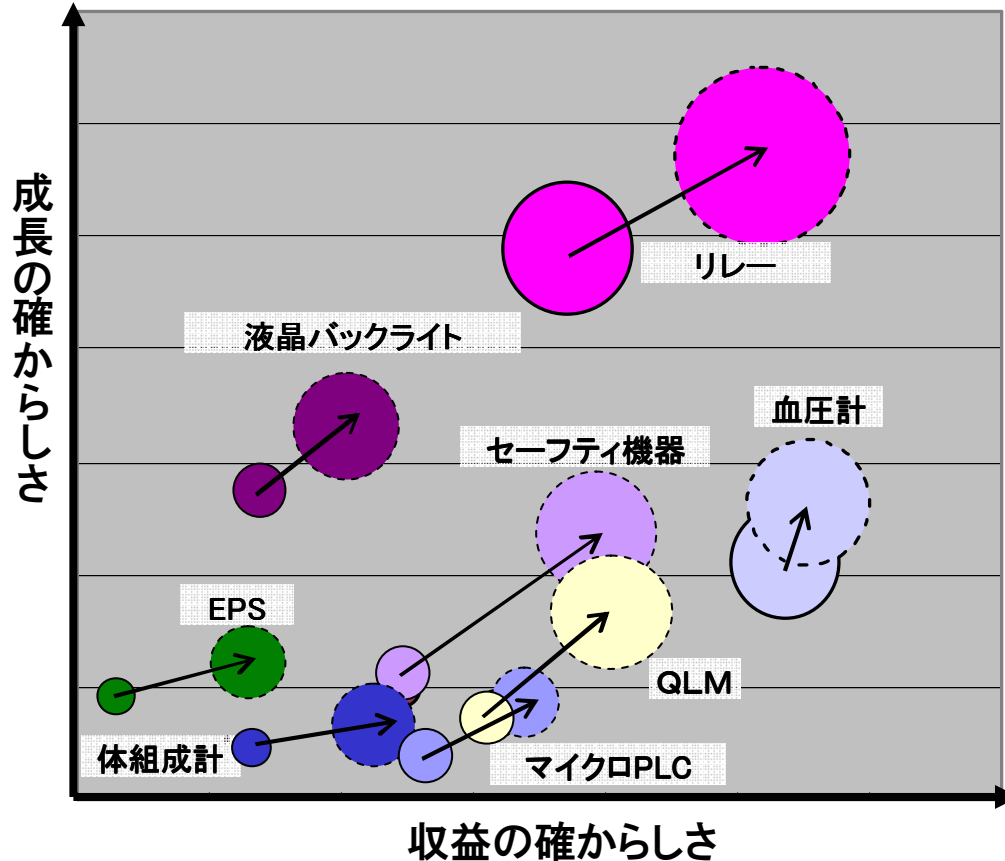
*2 「人」「車」「モノ」の状態を画像その他の情報から正しく理解・分析し、判断結果をアウトプットすることで社会の安心・安全に貢献するセンサ

既存

事業価値向上に着目し、注力事業を設定
8つの事業を全社注力事業として重点強化

グローバルNo. 1へのポジションシフト戦略

ポートフォリオマネジメントにより、それぞれの事業の事業価値を高め、グローバルに業界をリードする事業ユニットの集合体をめざす

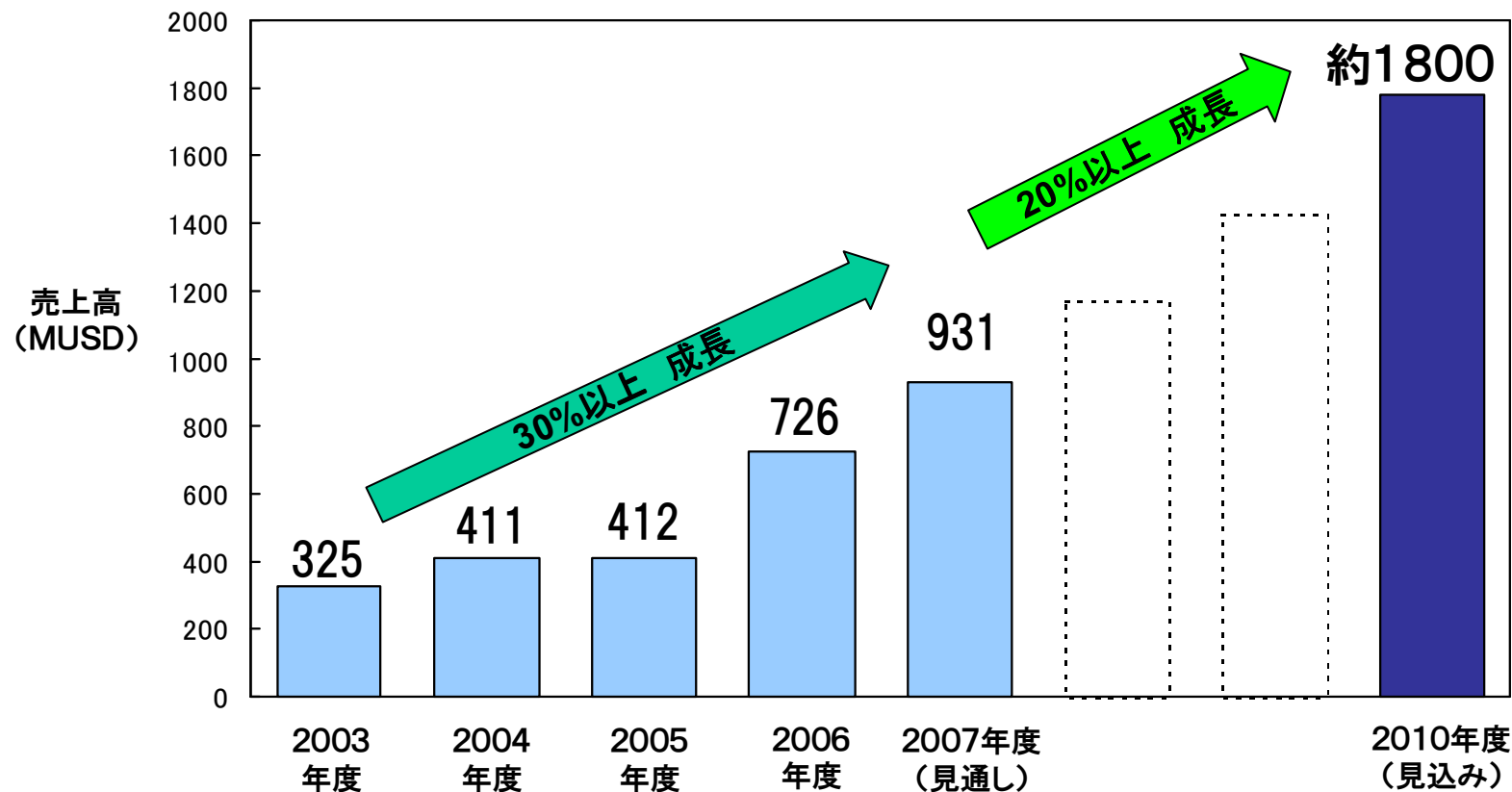


※既存のグローバルNo.1事業ユニット
(光電/近接センサ等)も継続強化

既存

年平均20%以上の成長を見込む
第3ステージは第2ステージでの投資を踏まえ回収に取り組む

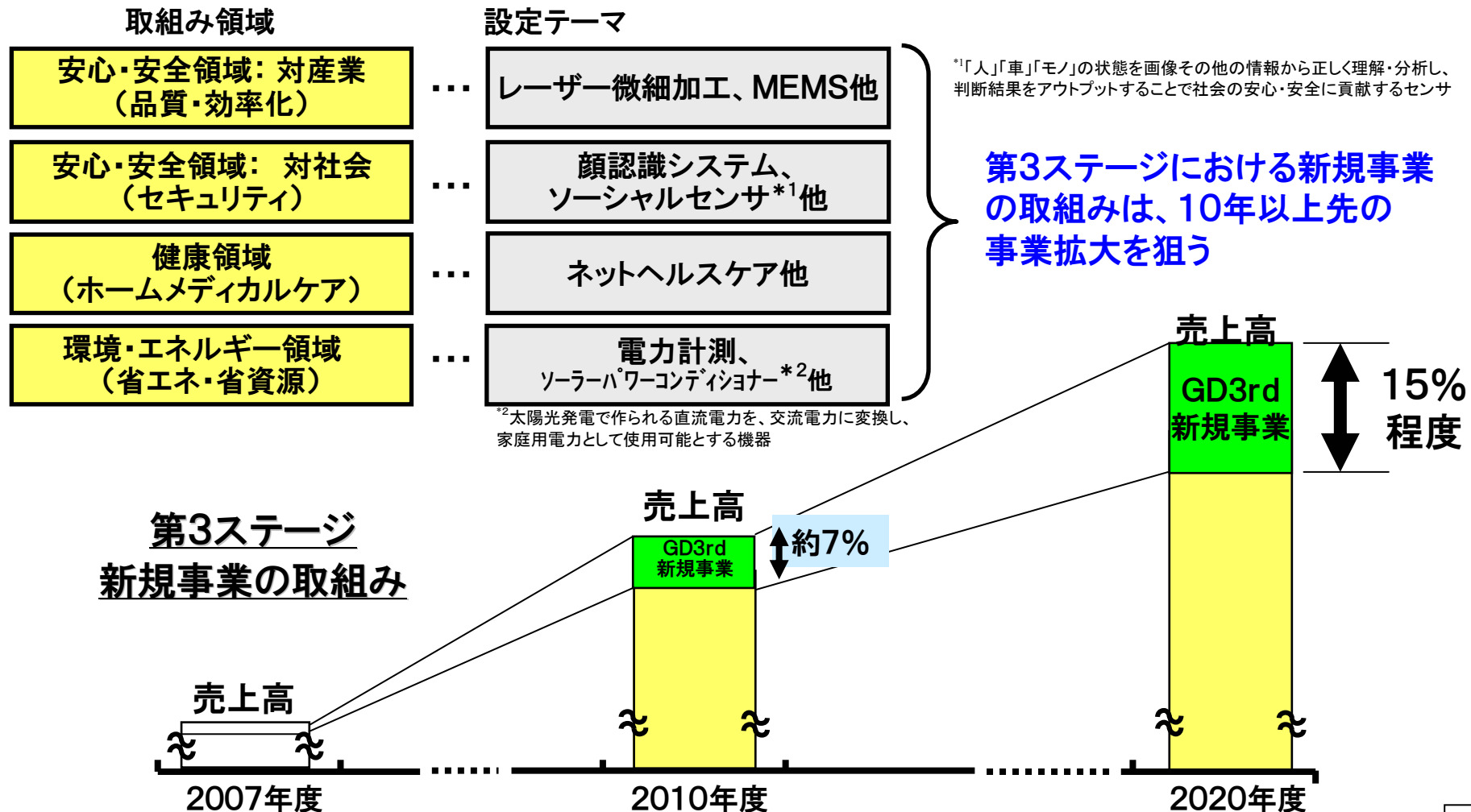
中華圏売上推移



※2007年度見通しは08/01/30発表値に基づく

新規

「安心・安全、健康、環境」に着目し、ソーシャルニーズを創造
2020年度における連結売上の15%程度の構成を狙う



新規

コア技術であるセンシング&コントロール技術により、
10年以上先を見据えた新規事業を創出

第3ステージ 新規事業のアプリケーション例

安心・安全

<セキュリティ: 顔認識システム>

店舗・駅・施設・工場など社会の安心・安全を実現



新規

コア技術であるセンシング&コントロール技術により、
10年以上先を見据えた新規事業を創出

第3ステージ 新規事業アプリケーション例

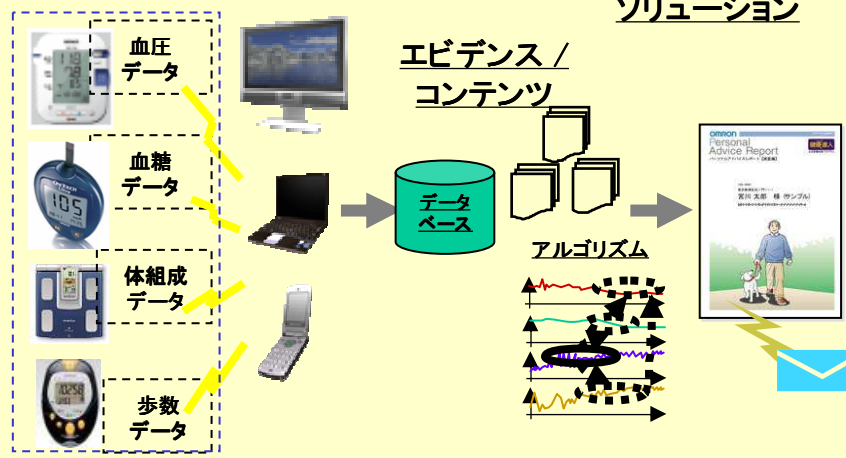
健康

＜ホームメディカルケア：ネットヘルスケア＞

生活習慣病予防・改善のトータルソリューションを実現

生体・行動情報センシング

生活習慣病予防・改善
ソリューション



顧客:

個人

民間企業

保険者・
事業主

医療機関

新規

コア技術であるセンシング&コントロール技術により、
10年以上先を見据えた新規事業を創出

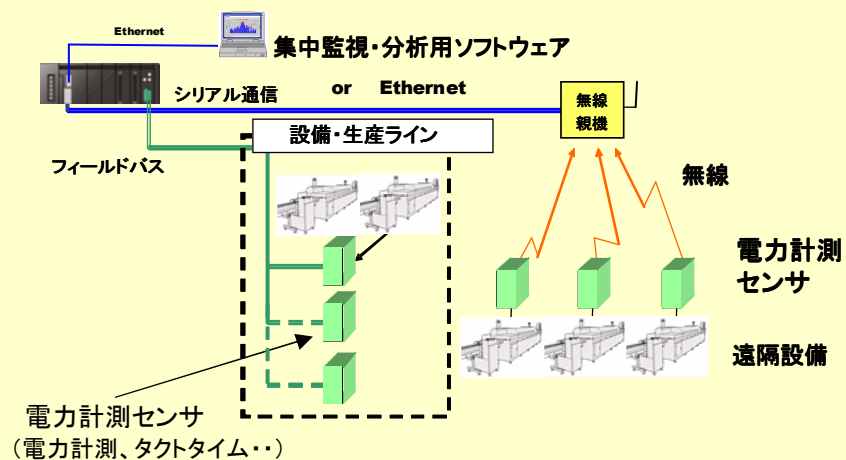
第3ステージ 新規事業アプリケーション例

環境

<エネルギー：電力計測>

省エネ法需要(原単位管理*1)への対応

*1 設備/製品毎の消費エネルギー管理



電力計測センサ
(電力計測、タクトタイム...)

電力の“見える化” 対応力強化

高精度計測技術

+

各種通信技術
(無線各種、電力線通信など)

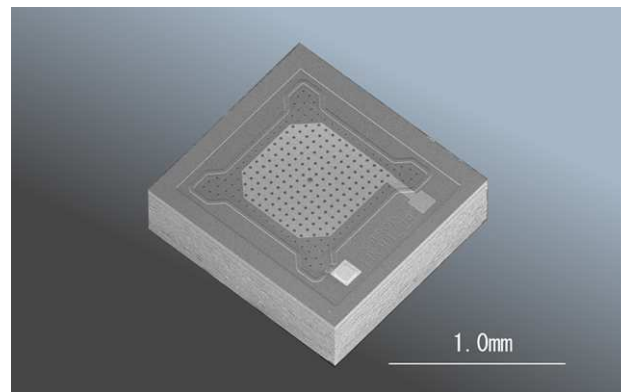
新規
既存

半導体技術によるセンシング&コントロール技術の最強化

<MEMSの例>



ウェハ上に成型された
RF MEMSスイッチ



MEMSマイクロフォンチップ

【オムロン セミコンダクターズ株式会社(OSC) <滋賀県>】



敷地面積：42,000㎡
床面積：39,900㎡



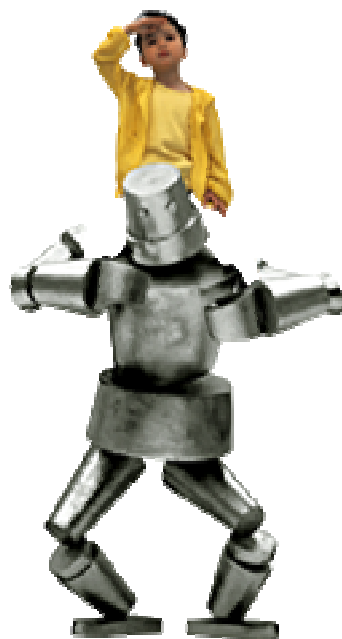
2010年度の業績指標

	2010年度
売上高	1兆円
営業利益	950~1,000億円
営業利益率	10%程度
1株利益	約260円



人と機械のベストマッチングをめざして

オムロン株式会社



＜お問い合わせ＞

グループ戦略室 経営IR部

電話 : 03-3436-7170

E-mail : omron_ir@omron.co.jp

HPアドレス : www.omron.co.jp

